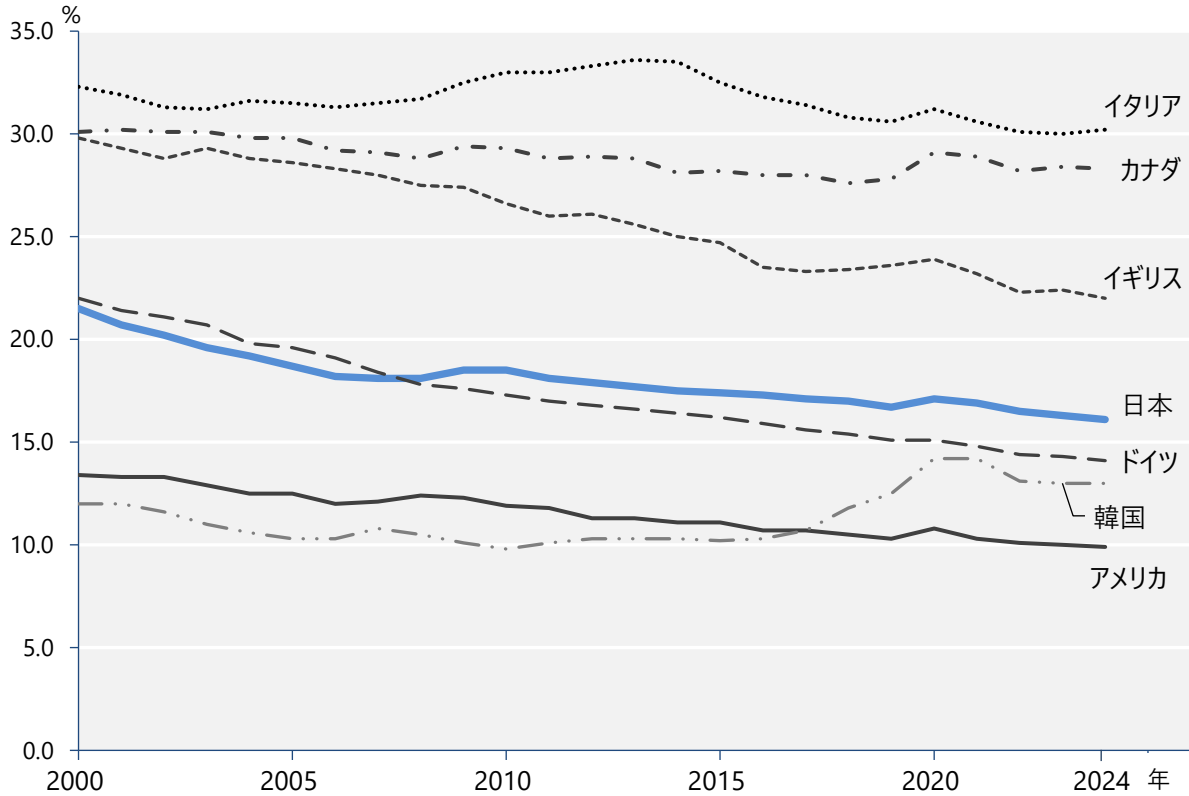


7-1 労働組合組織率の推移



🔗 関連表 p.227 「第 7-2 表 労働組合組織率」

労働組合組織率の推移をみると、多くの国で過去20年余りにわたって低下傾向にある。相対的に組織率の高い国ほど、急速な低下を経験しており、例えばイギリスでは、2000年の29.8%から2024年には22.0%と7.8ポイント低下、日本では、同じ期間に21.5%から16.1%へと5.4ポイント低下している。また、ドイツでは、2000年の22.0%から2024年には14.1%と7.9ポイント低下している。

なお、韓国ではここ数年、他の各国とは対照的に、組織率が上昇していたが、2022年以降は横ばい傾向で推移している。